

2012年度前期 学生による授業アンケート結果

2012.11.26

教育開発推進委員会

目次

1. 全体の結果
2. 科目分野別の結果
3. 授業形態別の結果
4. 受講者数別の結果
5. 先生のアンケートから

【概要】

- * 2012年度の授業評価アンケートは、専任教員2～4科目、非常勤講師1科目とし、先生方が選んだ科目で実施しました。
- * アンケート対象授業は、受講者数が専任教員は5名以上、非常勤講師は10名以上の授業です。
- * 評価は5段階評価です (1:全くそう思わない 2:そう思わない 3:どちらともいえない 4:そう思う 5:強くそう思う)
- * 前期は7月9日～7月28日に実施しました(都合によりこの期間外に実施した科目もあります)。

1 全体の結果

分野(基礎科目や基幹科目など)、授業形態(講義系や演習系、実習など)、人数などが異なる授業全ての科目を集計した平均値です。

実施科目数 124科目

質問項目別に見る平均

【表1】

設 問	平均
学生自己評価について	3.99
1.私は、私語・飲食・携帯電話の使用を慎み適切な態度で授業に出席した	4.10
2.私は、この授業に対し意欲的に取り組んだ(熱心な授業態度、予習・復習をするなど)	3.87
授業について	4.11
3.授業の概要と目的(シラバス)が授業に反映されていた	4.11
4.成績評価の基準が事前にはっきりと示されていた	4.05
5.授業時間はだいたいにおいて守られていた(開始時間・終了時間)	4.29
6.教員の声や言葉は聞き取りやすかった	4.21
7.授業で使用した教材(教科書・資料等)は授業内容の理解に役立った	4.18
8.教員の板書やパワーポイント等は分かりやすかった	3.86
9.この授業の進め方及び内容は適切であった	4.06
10.課題の内容は学習に役立った	4.06
11.教員の授業に対する取り組みに熱意が感じられた	4.31
12.教員は学習に適した環境で受講できるよう努めていた(私語・居眠り・学生の出入り・携帯電話への注意など)	4.03
13.学生の努力が公正に評価されるよう教員の配慮がなされていた	4.10
14.教員は学生の質問や発言に対し適切に対応した(授業外も含む)	4.17
15.この授業がテーマとする分野への問題意識や関心が深まった	4.09
16.この授業に満足し、後輩や友人に勧めたいと思う	4.01
環境について	4.28
17.教室の広さは適切であった	4.28
18.机や椅子の配置は適切であった	4.25
19.廊下や隣接する教室など、教室外からの騒音は特に気にならなかった	4.30

2 科目分野別の結果

*「基礎科目」「基幹科目」「応用科目」と分かれている授業科目の中で、「基礎科目」をさらに「文献」「情報」「外国語」等に分類し、平均値を出したものが次の【表2-2】です。「基幹科目」は各学科の専門科目を意味します。

実施科目

【表2-1】

科目分野	実施数	実施科目
基礎科目:文献講読演習	8	文献講読演習 / 文献講読演習 a/文献講読演習
基礎科目:日本語科目	2	日本語表現法
基礎科目:英語科目	18	English Writing /English Reading /English Communication /Sound Production/English Reading /Grammar /English Listening /英文講読
基礎科目:情報文献	2	情報処理リテラシー
基礎科目:スポーツ・健康	4	生涯スポーツ /スポーツ文化論/心と身体の健康学
基礎科目:現代教養	7	福祉文化論/人文地理学/女性学入門/数学の基礎/心理学 /経済学
基幹科目	77	Public Speaking /アンケート作成法/医学一般 /英語学特講/英語情報コミュニケーション /英語情報データベース/英米文学入門 /音楽表現法(前期)/家政学概論/器楽/基礎音楽/基礎造形/教育指導の研究/教育の基礎理論/キリスト教文化史/現代社会と福祉 /子どもと音楽 /子どもと環境 /子どもの保健/コミュニケーション研究 /産業・組織心理学/ジェンダー論/自然地理学 /児童英語/児童相談の理論と方法/児童臨床心理学/社会科教育法/社会心理学/社会的養護/社会福祉施設サービス論/社会福祉論/社会保障 /就労支援サービス/生涯学習概論/障害児の心理と教育/障害児保育/障害ソーシャルワーク論/生涯発達心理学 /情報発信表現論/情報文化特論/心理学入門 /数量と図形の理解/生活科教育法/生活支援技術E/造形表現法/総合演習/相談援助演習 /相談援助実習指導 /ターミナルケア論/地域研究特講(長崎と近代化)/地域福祉の理論と方法 /地域文化研究(アジア文化論)/データベース演習/東洋の思想/日英語対照研究/日本語学概論/日本の宗教/日本文学概論/人間関係論 /人間心理学 /認知症の理解 /博物館資料論/発達と学習の心理学 /バリアフリー・デザイン/比較教育/比較文化(方法)研究序説/比較文化研究(長崎の美術工芸)/福祉人権論/育原理/保健医療サービス/モンテッソーリ教育学特論 /幼稚園教育実習指導 /理科教育の研究/理科教育法/臨床心理学 (現福)/老人ソーシャルワーク論
資格・免許に関する科目	3	事前事後指導/教育指導の研究 /図書館サービス論・児童サービス論

質問項目別に見る平均

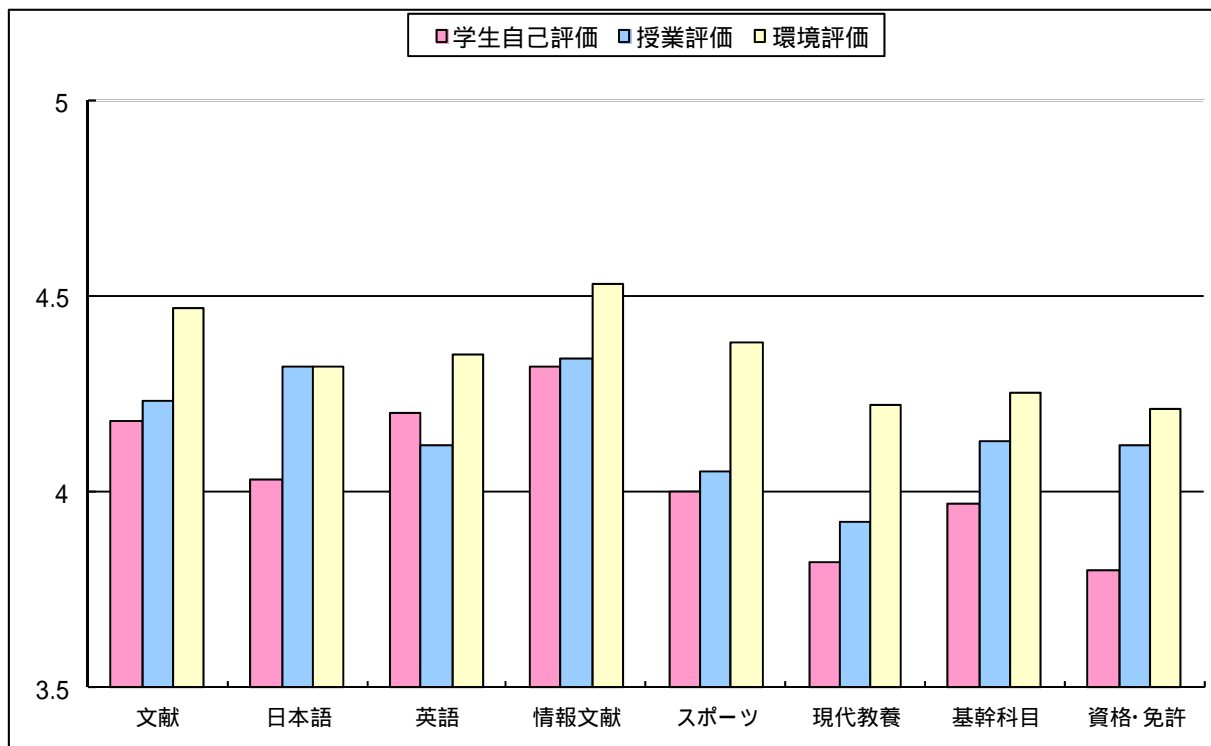
【表2-2】

設問内容		基礎科目						基幹科目	資格免許
		文献	日本語	英語	情報文献	スポーツ	現代教養		
学生自己評価	平均	4.18	4.03	4.20	4.32	4.00	3.82	3.97	3.80
1.適切な態度		4.32	4.15	4.32	4.39	4.08	3.88	4.09	3.85
2.意欲的な取り組み		4.03	3.90	4.08	4.26	3.91	3.75	3.85	3.74
授業への評価	平均	4.23	4.32	4.12	4.34	4.05	3.92	4.13	4.12
3.シラバスの授業への反映		4.04	4.18	4.14	4.27	4.17	3.94	4.12	4.19
4.成績評価基準の明示		4.22	4.49	3.99	4.49	3.98	3.94	4.06	4.10
5.授業時間を守る		4.23	4.22	4.35	4.46	4.29	4.28	4.28	4.36
6.教員の声や言葉の聞き取りやすさ		4.50	4.61	4.13	4.35	4.26	3.96	4.23	4.19
7.教材が理解に役立った		4.42	4.47	4.18	4.20	3.98	3.94	4.22	4.39
8.板書やパワーポイントの分かりやすさ		3.83	4.14	3.83	4.25	3.69	3.64	3.90	3.79
9.進め方と内容の適切さ		4.25	4.40	4.06	4.36	4.06	3.83	4.08	4.13
10.課題の内容は学習に役立った		4.42	4.54	4.06	4.49	3.99	3.80	4.07	4.03
11.教員の熱意が感じられた		4.37	4.40	4.34	4.29	4.24	4.17	4.33	4.48
12.適切な学習環境の保持		4.09	4.08	4.26	4.30	4.01	3.79	4.03	3.78
13.学生の努力の公正な評価		4.21	4.39	4.20	4.41	4.03	3.93	4.10	4.16
14.学生の質問や発言への適切な対応		4.41	4.30	4.25	4.43	4.04	4.00	4.19	4.16
15.問題意識・関心が深まり		4.20	4.13	3.96	4.35	4.00	3.88	4.14	4.00
16.後輩や友人に勧めたい		4.00	4.12	3.94	4.22	3.98	3.84	4.05	3.86
環境への評価	平均	4.47	4.32	4.35	4.53	4.38	4.22	4.25	4.21
17.教室の広さの適切さ		4.50	4.47	4.38	4.55	4.34	4.14	4.27	4.28
18.机・椅子の配置の適切さ		4.43	4.43	4.36	4.56	4.29	4.17	4.22	4.33
19.教室外からの騒音は気にならなかった		4.48	4.07	4.32	4.50	4.51	4.36	4.27	4.02

設問は略しています。正式な設問は「1全体の結果」の【表1】を参考にしてください。

各分野の評価項目ごとの平均を比較したグラフ

【グラフ1】



「文献」と「情報文献」は学生自己評価が特に高いことが伺えます。また、「情報文献」は授業評価も高いです。

3 授業形態別の結果

* 授業の形態を「講義系授業」「演習系授業」で分類し、平均値を出したものです。

* 授業形態は担当教員の届出によります。

実施科目

【表3-1】

授業形態	実施数	実施科目
講義系	78	English Communication /English Reading /English Writing /Grammar /アンケート作成法/医学一般 /英語学特講/英語情報データベース/英文講読 /英米文学入門 /家政学概論/韓国語 /教育指導の研究/教育指導の研究 /教育の基礎理論/キリスト教文化史/経済学/現代社会と福祉 /心と身体の健康学/子どもの保健/コミュニケーション研究 /産業・組織心理学/ジェンダー論/自然地理学 /児童相談の理論と方法/児童臨床心理学/社会科教育法/社会心理学/社会的養護/社会福祉施設サービス論/社会福祉論/社会保障 /就労支援サービス/生涯学習概論/障害ソーシャルワーク論/生涯発達心理学 /情報処理リテラシー/情報発信表現論/情報文化特論/女性学入門/人文地理学/心理学 /心理学入門 /数学の基礎/数量と図形の理解/スポーツ文化論/生活科教育法/生活支援技術E/相談援助実習指導 /ターミナルケア論/地域研究特講(長崎と近代化)/地域福祉の理論と方法 /地域文化研究(アジア文化論)/東洋の思想/図書館サービス論・児童サービス論/日英語対照研究/日本語学概論/日本語表現法 /日本の宗教/日本文学概論/人間関係論 /人間心理学 /認知症の理解 /博物館資料論/バリアフリー・デザイン/比較教育/比較文化(方法)研究序説/比較文化研究(長崎の美術工芸)/福祉人権論/福祉文化論/保育原理/保健医療サービス/モンテッソーリ教育学特論 /理科教育の研究/理科教育法/臨床心理学(現福)/老人ソーシャルワーク論
演習系	40	English Communication /English Listening /English Reading /English Reading /English Writing /Grammar /Public Speaking /Sound Production/英語情報コミュニケーション /音楽表現法(前期)/器楽/基礎音楽/基礎造形/子どもと音楽 /子どもと環境 /事前事後指導/児童英語/障害児の心理と教育/障害児保育/情報処理リテラシー/造形表現法/総合演習/相談援助演習 /データベース演習/日本語表現法 /発達と学習の心理学 /文献講読演習 /文献講読演習 a/文献講読演習 /幼稚園教育実習指導
実技系	4	生涯スポーツ /English Communication /English Reading

質問項目別に見る平均

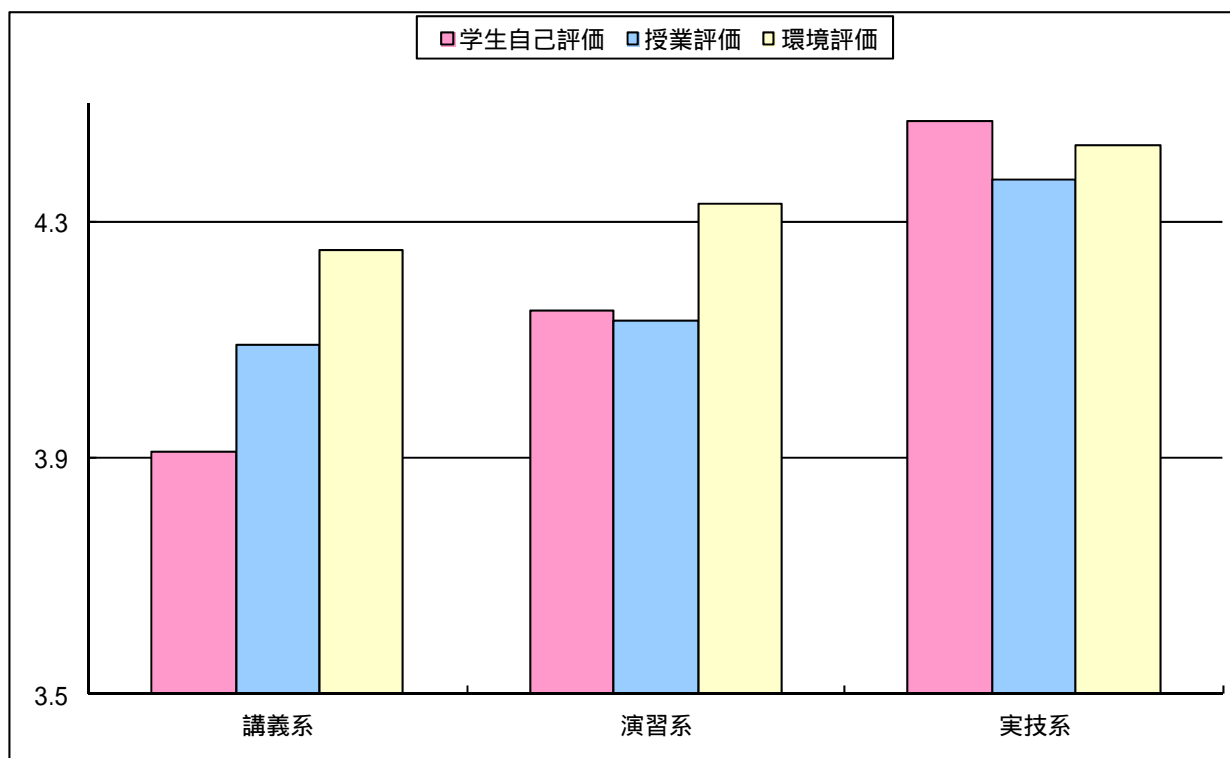
【表3-2】

設問内容		講義系	演習系	実技系
学生自己評価	平均	3.91	4.15	4.47
1.適切な態度		4.02	4.26	4.48
2.意欲的な取り組み		3.79	4.05	4.46
授業への評価	平均	4.09	4.13	4.37
3.シラバスの授業への反映		4.10	4.11	4.40
4.成績評価基準の明示		4.05	4.05	4.15
5.授業時間を守る		4.31	4.21	4.42
6.教員の声や言葉の聞き取りやすさ		4.20	4.19	4.55
7.教材が理解に役立った		4.16	4.22	4.28
8.板書やパワーポイントの分かりやすさ		3.86	3.84	4.16
9.進め方と内容の適切さ		4.05	4.07	4.44
10.課題の内容は学習に役立った		4.01	4.15	4.27
11.教員の熱意が感じられた		4.30	4.32	4.58
12.適切な学習環境の保持		3.97	4.14	4.52
13.学生の努力の公正な評価		4.07	4.15	4.33
14.学生の質問や発言への適切な対応		4.14	4.23	4.48
15.問題意識・関心が深まり		4.09	4.08	4.28
16.後輩や友人に勧めたい		4.00	4.03	4.32
環境への評価	平均	4.25	4.33	4.43
17.教室の広さの適切さ		4.24	4.37	4.46
18.机・椅子の配置の適切さ		4.23	4.30	4.31
19.教室外からの騒音は気にならなかった		4.28	4.33	4.53

設問は略しています。正式な設問は「1全体の結果」の【表1】を参考にしてください。

各授業形態の評価項目ごとの平均を比較したグラフ

【グラフ3】



「実技系」は全ての評価分野において最も高い評価となっています。

4 受講者数別での結果

実施科目

【表4-1】

受講者数	実施数	実施科目
20名以下	34	English Communication /English Listening /English Reading /English Writing /Grammar / Sound Production/英文講読 /基礎音楽/子どもの保健/事前事後指導/自然地理学 /社会的養護/障害児保育/情報文化特論/生活支援技術E/専攻演習 /相談援助演習 /相談援助実習指導 /地域文化研究(アジア文化論)/認知症の理解 /文献講読演習 、 a、 /幼稚園教育実習指導 /理科教育の研究/臨床心理学 (現福)
21名以上50名以下	47	English Communication /English Reading 、 /Grammar /Public Speaking /英語学特講/英語情報コミュニケーション /英米文学入門 /音楽表現法(前期)/家政学概論/韓国語 /器楽/基礎音楽/教育指導の研究、 /キリスト教文化史/ジェンダー論/社会科教育法/社会福祉施設サービス論/生涯スポーツ /障害ソーシャルワーク論/情報処理リテラシー/情報発信表現論/数量と図形の理解/生活科教育法/ターミナルケア論/地域研究特講(長崎と近代化)/データベース演習/東洋の思想/日英語対照研究/日本の宗教/日本文学概論/博物館資料論/発達と学習の心理学 /バリアフリー・デザイン/比較教育/比較文化研究(長崎の美術工芸)/福祉人権論/モンテッソーリ教育学特論 /理科教育法/老人ソーシャルワーク論
51名以上100名以下	30	アンケート作成法/英語情報データベース/経済学/現代社会と福祉 /子どもと環境 /コミュニケーション研究 /産業・組織心理学/児童英語/児童臨床心理学/社会心理学/社会保障 /就労支援サービス/生涯学習概論/情報処理リテラシー/女性学入門/人文地理学/心理学 /心理学入門 /スポーツ文化論/造形表現法/総合演習/地域福祉の理論と方法 /図書館サービス論・児童サービス論/日本語学概論/日本語表現法 /人間心理学 /比較文化(方法)研究序説/福祉文化論/保健医療サービス
101名以上	13	医学一般 /基礎造形/教育の基礎理論/心と身体/健康学/子どもと音楽 /児童相談の理論と方法/社会福祉論/障害児の心理と教育/生涯発達心理学 /心理学 /数学の基礎/人間関係論 /保育原理

質問項目別に見る平均

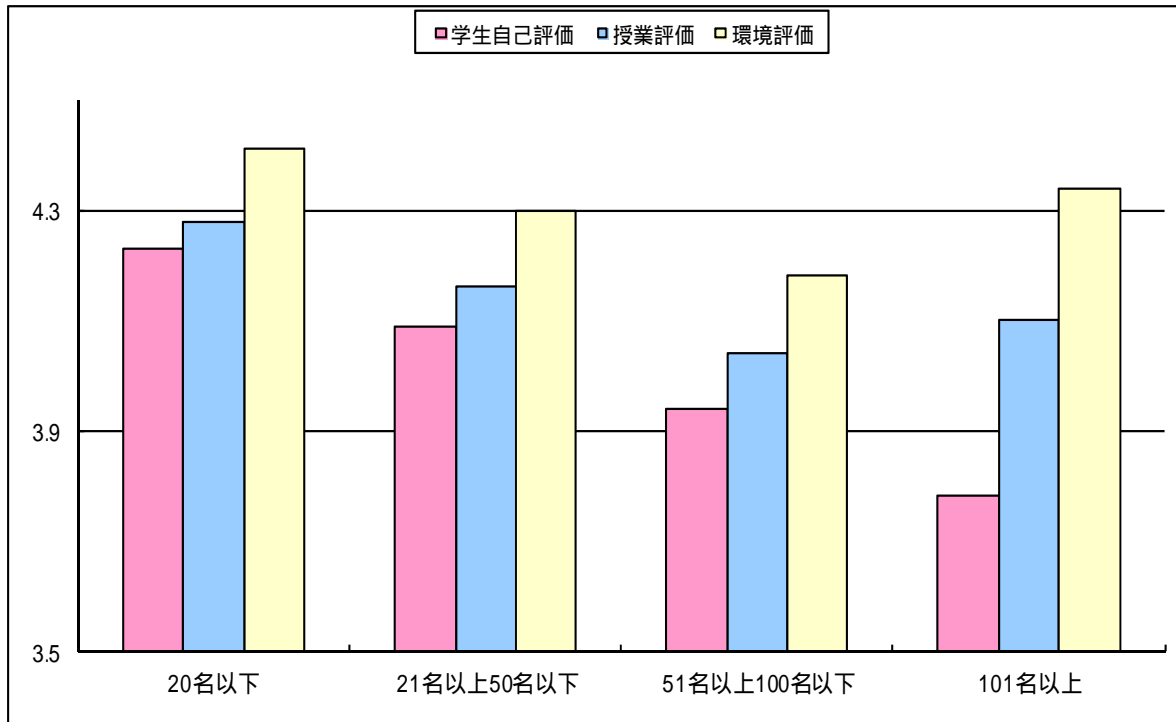
【表4-2】

設問内容		20名以下	21名以上 50名以下	51名以上 100名以下	101名以上
学生自己評価	平均	4.23	4.09	3.94	3.87
1.適切な態度		4.31	4.19	4.06	3.98
2.意欲的な取り組み		4.14	3.98	3.82	3.76
授業への評価	平均	4.28	4.16	4.04	4.10
3.シラバスの授業への反映		4.18	4.17	4.04	4.10
4.成績評価基準の明示		4.18	4.05	4.04	4.03
5.授業時間を守る		4.37	4.34	4.26	4.25
6.教員の声や言葉の聞き取りやすさ		4.39	4.24	4.16	4.19
7.教材が理解に役立った		4.37	4.23	4.09	4.20
8.板書やパワーポイントの分かりやすさ		4.07	3.87	3.75	3.94
9.進め方と内容の適切さ		4.24	4.13	3.98	4.07
10.課題の内容は学習に役立った		4.31	4.09	3.98	4.04
11.教員の熱意が感じられた		4.46	4.39	4.25	4.27
12.適切な学習環境の保持		4.25	4.10	3.97	3.95
13.学生の努力の公正な評価		4.26	4.16	4.05	4.05
14.学生の質問や発言への適切な対応		4.37	4.26	4.10	4.13
15.問題意識・関心が深まり		4.30	4.14	4.02	4.08
16.後輩や友人に勧めたい		4.19	4.06	3.91	4.04
環境への評価	平均	4.41	4.30	4.18	4.34
17.教室の広さの適切さ		4.47	4.34	4.17	4.31
18.机・椅子の配置の適切さ		4.43	4.31	4.15	4.26
19.教室外からの騒音は気にならなかった		4.34	4.25	4.22	4.44

設問は略しています。正式な設問は「1全体の結果」の【表1】を参考にしてください。

受講者数別の評価項目ごとの平均を比較したグラフ

[グラフ4]



学生の自己評価は受講者数が増えるにしたがって低くなっています。
 環境の評価は、51名以上100名以下の評価が最も低い。先生方からも「人数の対して教室が狭かった」などの意見がありました。
 少人数(20名以下)では、全ての評価分野において高く、授業の充実度を伺うことができます。

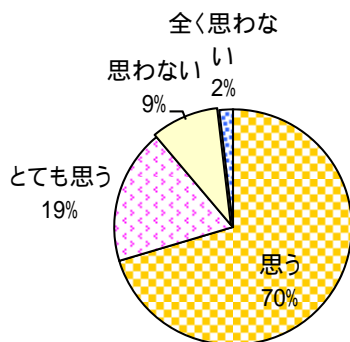
5 先生のアンケートから

* 学生の皆さんにご協力いただいた授業アンケート結果を受けて、先生方へ授業改善に対するフィードバックアンケートを実施しました。回答者数及びアンケート結果は次のとおりです。

回答者数 専任教員 34名(回収率63%) 非常勤講師 21名(回収率51%)

アンケート結果

問1 授業アンケートが今後の授業改善につながると思うか？

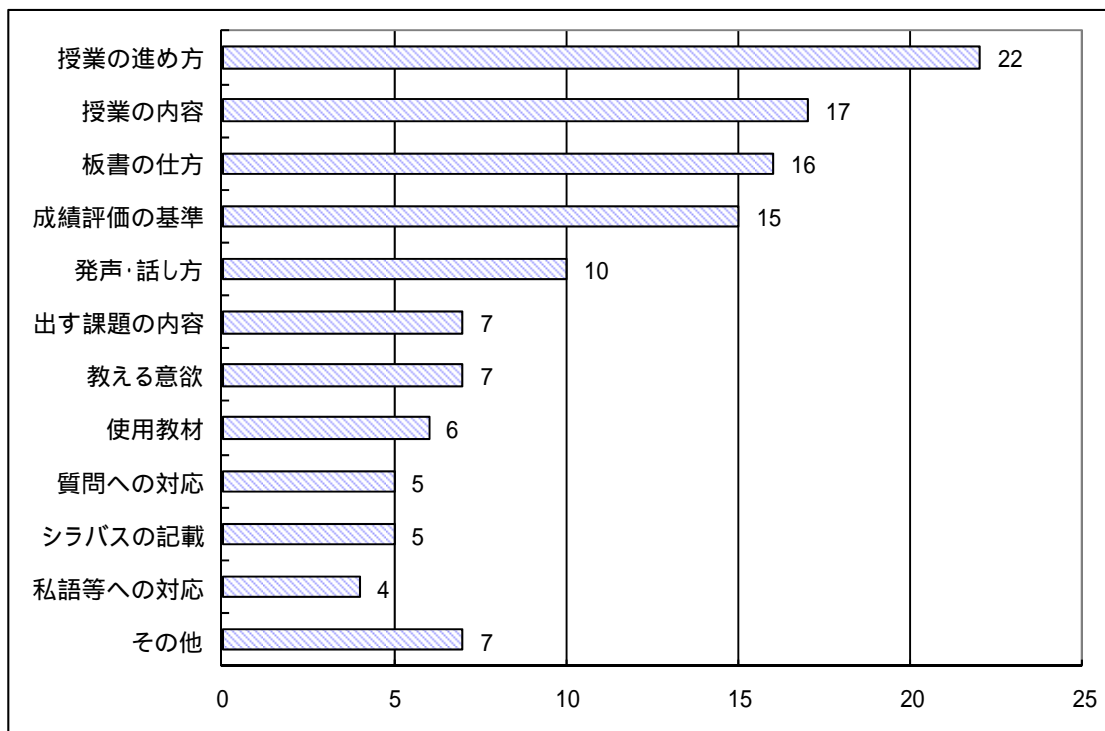


	専任教員	非常勤講師
とても思う	7	3
思う	21	17
思わない	4	1
全く思わない	1	0

無回答 1名

問1で「とても思う」「思う」と回答した方対象

問2 具体的にどのような点を改善しようと思うか？(複数回答可)



その他の改善点として「教材の説明」「課題を出す時期」「教室の環境(広さや備品など)」の意見がありました。

問1で「思わない」「全く思わない」と回答した方対象

問3 授業アンケートが改善につながらないと思う理由は？(複数回答可)

改善の手立てが分からない(同じ内容でも、年によって評価が異なる)。

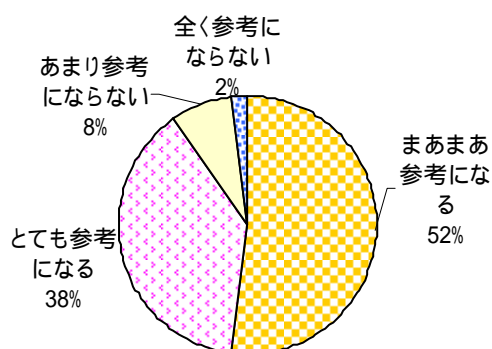
学生が真剣に取り組んでいないように見受けられる。

学生に評価能力がないように思う。

担当教員が、全ての学生を手助けすることは難しい。

何を改善すべきなのかが不明快である。

問4 自由記述アンケートは授業改善の参考になるか？



	専任教員	非常勤講師
とても参考になる	12	8
まあまあ参考になる	15	12
あまり参考にならない	4	0
全く参考にならない	1	0

無回答 2名

ほとんどの先生が『参考になる』と回答しています。特にどのような点が参考になるのかというと…。

「具体的な記述により、改善すべき点が見えてくる」

「授業の内容、形態等、学生の力量向上のための方策にヒントになる」などの意見がありました。

『参考にならない』と回答した先生の意見からは、「記載が全くなかった」「具体的な記載がなかった」など、記述がほとんどなかったことがあげられていました。